

かえる通信 15

八浜中 1月31日(木)



- 1月29日に、教育委員会及び、コンサルタントを含め最終の「業務改善加速事業モデル校」としての会をもちました。コンサルタントからは、多くの実践に対する高い評価を頂きました。一番の成果は、その実践を通して職員の意識が高まったことです。目的意識・ベクトル合わせもしっかり出来ていたと評価していただきました。

<目的を再度まとめると>

- ①これから長期にわたる優秀な教職員の確保が、日本の未来に大きく影響すること。そのためには教育職はブラックと呼ばれないようにすることが必要。

②教職者としてその資質向上をはかり、常に元気で潑刺とした姿で生徒の指導に望むことが大切。

<特に高い評価を受けたのは次5点です>

- ・本校の取組は、学校だけでなく市教委、校長会、中体連も巻き込んだ取組であること。(留守番電話、部活動の取り決め、5月中間テスト廃止 H32)
- ・実践していく中でバージョンアップや、修正がなされていること。(かえるボード、ペーパーレス職員会議など)
- ・保護者の声が反映されていること。(家庭訪問、自由参観日、三者懇談)
- ・管理職の主導だけでなく、各分掌担当者からの動きが見られること。(生徒会専門委員会の再編、パブリックの整理、ペーパーレス職員会議)
- ・各自のワークだけでなく、ライフの充実が文章化されていること。(自己目標シートの欄外 「知見を広める趣味特技目標」)

年度末には、このような取組を実践し、自分がどのように変わったか文章でのアンケートをとり、締めくくりとしたいと考えています。ご協力ください。

- 1月30日には、「整理術」の研修がありました。

捨てる。
書類は立てる。

見出しを書く。
毎日使うモノを近くに置く。

皆さん早速 整理と収納！ 頑張りましょう。

- 右のページは、コクヨさんに依頼した職員室のレイアウトです。学年団はあえて、背中合わせに計画しています。毎朝の学年会は、お互い振り向いて顔色を見ながら集中してやりましょう。これはあくまで(案)なので、皆さん色々と考えや、アイデアを自由に出してください。憩いのスペースについても検討中です。あれが良い、これが良いと、気楽に言葉にしてください。楽しみながら皆で創りあげましょう。

「未来の学校「夢」プロジェクト事業成果報告会」
主催 静岡県教育委員会報告会
での資料につき、掲載はできません。ご了承ください。

資料1 「残業の生産性の低さについて」

- ・ 東京大学医学部 島津明人准教授
ホワイトカラーでは、残業中の労働生産性が低く、日中の集中力の高い時間帯を効果的に使うことが生産性を高める。
- ・ 労働科学研究所 佐々木司・慢性疲労研究センター長
眠りと疲労回復との関係について紹介。残業も含む1週間の労働時間に上限を設けること必要性について説明。
- ・ 矢野和男 株式会社日立製作所 研究開発グループ技師長
日中の集中力の高い人は、平日と休日で睡眠時間や時間帯の差が少ないことから、平日に残業が多く土日に寝だめしているようなライフスタイルが生産性を落としていることを説明。

資料2 「折れてしまう」原因はストレスではなく「疲労」

- ・ メンタル・レスキュー協会理事長
同シニアインストラクター
元・陸上自衛隊衛生学校心理教官 下園 壮太

グラフをもとに、「『折れてしまう』原因はストレスではなく『疲労』対策は疲労を回復させる睡眠しかない。」ことを説明。

※ 8時間睡眠と6時間睡眠のグループを2週間比較。作業能力の低下について検証した。